

心をはぐくむ講座

「子育ては、いつも今日からやり直し」。いつでも希望をもって子育てをしてほしい。お父さん、お母さんから受け入れられている、尊重されていると感じることで「自己肯定感」が育つ。母は子どもにとって大切な存在。穏やかに微笑んでくれる。お母さん自身が笑顔でいることが大切！！

袋井市子ども支援室の先生

令和5年度～人権啓発キャッチコピー～

「誰か」のことじゃない。

私たちの周りには、依然として様々な人権問題が存在している。これらは、決して自分以外の「誰か」のこと、「自分に関係ない」ことではない。4～5人のグループで相談して人権俳句作りをしました。

袋井市人権擁護委員の皆さん

子どものノートを見ると参観会では見られない子どもの姿を感じる。子ども自身も自分のノートを気にする存在がいると感じる。子どもをハグし声を掛ける(心と身体で)ことで自己肯定感は育っていく。「甘やかす」は、親のペースに合わせて子どもに対応すること。「甘えさせる」は、子どものペースに合わせて甘えさせられて自己肯定感が育ち自立していくことを学びました。

村田 美千子先生

子どもには節目節目に育つもの、育てたいものがあります。そして親にも子育てで「手をかけ、目をかけ、心をかける」時期があります。心の土台は「自己肯定感」。自己肯定感がもてたことで、しつけや学習の学びが定着していく。子どもにとって「家庭」が安らぎのある楽しい居場所に！！

大場 富恵先生

令和5年度 各講話の主な内容

赤ちゃんは100%誰かに何かをしてもらわないと何もできないから周りの大人たちに大切にされる。その経験によって自分を大切にできる心が育つ。「ありがとう」は感謝の言葉。ほめるより「ありがとう」を言うことが大切。「あなたがいて助かった」の声かけも必要。「いつでも修復できる。もう遅いは、ない。」

杉浦 桂子先生

最近の話題から人権について広く深いお話をされました。「試してみませんか、3つのこと」①よさ・らしさを認め勇気づける！②子ども自身に決めさせる・選ばせる！③とにかく、やらせてみる・失敗から学ばせる！講師の先生からの質問に参加者は積極的に自分の思いや感じることを発言し、共有し合うことができました。県人権啓発センター指導員

自己肯定感を上げる一番簡単な方法（今日からできる三つの方法）①「当たり前」のハードルを下げる！②自分を褒めまくる！③人と比べない！…自己肯定感を上げる方法を知り、実践することを決めて自分好き程度アップしよう！「ワーク」をとおして自分のことを見つめ直す機会となりました。

熊切 千晶先生

子育てや家庭教育に関する悩みや不安を軽減できるように、講話後、袋井市家庭教育支援員の進行で、県の「つながるシート」を使用し参加者同士の話し合いの場を設けています。

